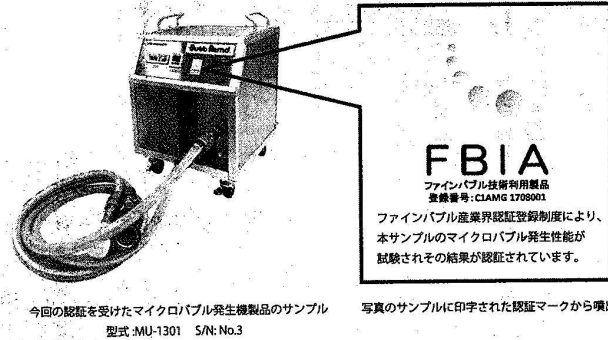


平成29年10月9日

金属産業新聞(8面)に掲載されました



日東精工(株)(京都府綾部市、材木正己社長)は、(一社)ファインバブル産業会(以下FBI A)が認証する「マイクロバブル認証事業」の性能の認証を受けた。FBI Aより発生機製品のサンプルの性能の認証書が発行されたことを受け、今後は展示会等でも広く紹介していく。

外的に認証するもの。同社では、水と空気のみに生成されたマイクロバブルの特性を活かし、対象物に付着した油などの汚

機種をラインナップしている。「バブ・リモ」は一般的な洗浄機と比較して有機溶剤や酸・アルカリといった化学合成物質

ザを中心に評価を得てきた。こうした中、同社が所属会員でもあるFBI Aでは、17年4月よりマイクロバブル発生機の製

マイクロバブル認証を取得

日東精工 FBI Aより性能評価

れに接触してその表面に吸着することで洗浄効果を発揮する「マイクロバブル洗浄装置(バブ・リモ)」の製造・販売を11年に開始。現在までに4

を一切使用しないため、環境に優しく、作業者に安全でランニングコストが圧倒的に安価な工業用洗浄装置として、環境意識の高い自動車関連ユー

品のサンプルの性能を発生機が発生する粒径/個数濃度で評価し、その性能を対外的に認証する「マイクロバブル認証事業」(「IA認証」)が

開始された。マイクロバブルに関する新たな事業展開を図りたい同社はいち早く認証申請を行い、FBI Aが指定した試験ラボによる発生機試験と評価結果を得て、8月25日に国内第1号となる製品サンプルの性能の認証を取得した。

マイクロバブルは、野菜の栽培や魚の養殖、風呂やシャワーなどさまざまな分野でその応用が期待されており、工業用洗浄以外にも用途が広がる可能性をもっている。